

# 日本語のオノマトペ「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」の 記述的研究

杉村 泰

DOI: 10.18999/stul.33.25

## 1. はじめに

日本語には「ビリビリ」、「ジンジン」、「チクチク」のように痛みを表すオノマトペがたくさんある。しかし、日本語学習者はこれらのオノマトペの意味の違いを必ずしもよく理解しているわけではない。本稿では杉村泰(2017, 2018a, 2018b, 2019)に続き、痛みを表すオノマトペ「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」の意味について論じる。

## 2. 先行研究

本稿で見る「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」などに関して、小野(編)(2007)では次のように記述されている。

小野(編)(2007:78)(例文は省略)

**ずきずき** ① **さま** 絶えまなく、重くひびくように痛むさま。② **さま** ものを勢いよく切るさま。

**ずきん** ① **さま** うずくような激しい痛みが体を走るさま。ずきり。② **さま** 急にあるものごとくに驚いたり感動したりして、はげしく動悸が打つさま。ずきん。ずきり。

**ずきんずきん** **さま** 傷やはれもの、頭などが、脈打つように、絶えず痛むさま。ずきずき。

**ずきっ** **さま** うずくようなはげしい痛みが一瞬走るさま。ずきん。② **さま** ものを勢いよく切るさま。

ずきり ① **さま** うずくような激しい痛みを一度感じるさま。ずきん。② **さま** ことばが人の心をえぐるように鋭く突き刺さるさま。③ **さま** 動作を急にやめるさま。

これを受け、本稿ではコーパス(BCCWJ)を利用して、「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」の被修飾語(動詞など)と主体の違いを見ることにより、各形式間の相違や各形式内の多義構造を詳しく見ていく。

### 3. 痛みの部位に関する意識調査

まず、日本語母語話者と学習者が「ズキズキ」をどのように認識しているか見る。本研究では痛みを表す「ガンガン」、「キュンと」、「キリキリ」、「キンキン」、「シクシク」、「ジンジン」、「ズキズキ」、「ズーン」、「チクチク」、「ツーンと」、「ドーンと」、「ヒリヒリ」、「ビリビリ」、「ピリピリ」、「ミシミシ」の 15 語のオノマトペについて、次の被験者を対象に以下のアンケート調査を行った。答えが分からない場合には想像で回答してもらった。

[被験者]

・日本語母語話者

名古屋大学学部生 61 名(2017 年6月 29 日、7月 11 日、名古屋大学で実施)

・中国語を母語とする上級日本語学習者(全員N1合格)

名古屋大学留学生 19 人(2017 年7月7日～17 日、名古屋大学で実施)

・中国語を母語とする初級日本語学習者(全員日本語学習歴8か月。この時点ではまだ授業ではこの 15 語のオノマトペを学習していない)

上海師範大学外国語学院日語系1年生 25 人(2017 年5月 15 日、上海師範大学で実施)

[アンケート]

問 次の括弧の中に適当な身体部位を入れてください。また、それはどのような痛みだと思いますか(中国語で説明して構いません)<sup>1</sup>。

1. ( )がガンガン痛む。( )

<sup>1</sup> 括弧内の注は中国人学習者にのみ付けた。

15. ( )がミシミシと痛む。( )

その結果、痛みの部位に関して表1の結果を得た。「ズキズキ」の場合、日本人は「歯」を選んだ人が約三分の一と最も多く、次いで「顔」が約四分の一となっている。一方、上級学習者は「顔」を選んだ人が約七分の一ずつで最も多かった。このことから、上級学習者は「ズキズキ」といえば頭痛をイメージしやすいが、初級学習者は頭痛のイメージをしにくいことが分かる。

表1 「ズキズキ」の痛みの部位に関する意識調査 (回答数と割合)

	日本人		上級中国人学習者		初級中国人学習者	
1	歯	19(31.1%)	頭	5(26.3%)	骨	4(15.4%)
2	頭	15(24.6%)	胃	3(15.8%)	足	4(15.4%)
3	足	9(14.8%)	傷	3(15.8%)	頭	3(11.5%)
4	胸	4(6.6%)	指	2(10.5%)	歯	3(11.5%)
5	傷	4(6.6%)	歯	1(5.3%)	喉	2(7.7%)
6	腕	3(4.9%)	腹	1(5.3%)	手	2(7.7%)
7	肘	2(3.3%)	腰・背中	1(5.3%)	目	1(3.8%)
8	腰	2(3.3%)	膝	1(5.3%)	胃	1(3.8%)
9	鎖骨	1(1.6%)	足	1(5.3%)	指	1(3.8%)
10	腹	1(1.6%)	皮膚	1(5.3%)	腹	1(3.8%)
11	膝	1(1.6%)	合計	19(100%)	背中	1(3.8%)
12	合計	61(100%)	/		足・腕	1(3.8%)
13					足	1(3.8%)
14					皮膚	1(3.8%)
					合計	26(100%)

以下、国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス(通常版)」(BCCWJ)<sup>2</sup>の「中納言」を利用して、各オノマトペの被修飾語と主体または対象の違いについて見る。検索においては全資料を次のように短単位検索して、手作業でごみを取り除いた。

・キー 語形が[ズキズキ] (or ズキン/ズキンズキン/ズキッ/ズキリ)

その結果、BCCWJ からは「ズキッ」と「ズキリ」の例が出現しなかったため、以下では「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」の三語について論じる。

<sup>2</sup> 検索対象語数:124,100,964 語、空白・記号・補助記号を除いた検索対象語数:104,911,460 語。

## 4. 「ズキズキ(と)」

## 4.1 「ズキズキ(と)」の被修飾語

まず、「ズキズキ」の被修飾語を表2に示す。これを見ると、「ズキズキ」は全 96 例のうち、精神的刺激を表す場合が 6 例(6.3%)、肉体的刺激(痛み)を表す場合が 90 例(93.8%)となっている。

表2 「ズキズキ(と)」の被修飾語 (出現数)

精神的刺激(6)							
ーする	2	痛む	1	脈打つ	1	φ(動)	2
肉体的刺激(90)							
ーする	33	痛い	7	刺すように痛い	1	φ(動) <sup>3</sup>	3
ーだ <sup>4</sup>	1	疼く	4	鳴る	1	φ(名)	1
痛む	36	脈打つ	2	病む	1		
合計(96)							

以上のように「ズキズキ」は「する」<sup>5</sup>や「痛む」などの述語を取り、連続的に小刻みに脈打つような体の痛みを表す。それが精神的な心の痛みにも派生していると考えられる。

また、先行研究で論じられている「ピリピリ」、「チクチク」、「キュンキュン」、「ガンガン」、「キリキリ」などが精神的・肉体的刺激以外の用法もあるのに対し、「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」にはそのような用法が見られない点で特徴がある。また、「ピリピリ」、「チクチク」、「キュンキュン」、「ガンガン」、「キリキリ」には「神経がピリピリする」のような自動詞用法も「神経をピリピリさせる」のような他動詞用法もあるのに対し、「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」には自動詞用法しかない点でも特徴がある。

<sup>3</sup> 「ーφ(動詞)」は「昨日はズキズキ・・・」のようにオノマトペ単独で動詞用法となっているもの、「ーφ(名詞)」は「ズキズキに関しては」のようにオノマトペ単独で名詞用法となっているものを指す。

<sup>4</sup> これは「頭、ズキズキ、、、でしたが、、、」(Yahoo!ブログ)の例である。

<sup>5</sup> 吉永(2016:21)はオノマトペを「ヒリヒリ(する/\*だ)」のように主に「する」が付加され、「だ」は不可できない(Aタイプ)、「くたくた(だ/\*する)」のように主に「だ」が付加される(Bタイプ)、「ふらふら(する/だ)」のように「する」と「だ」の両方付加できる(Cタイプ)、「ぐっすり(眠る/\*する/\*だ)」のように特定の動詞と結びつき、「する」や「だ」が付加できない(Dタイプ)の4つに分けている。この分類に従うと、痛みを表す「ズキズキ」はAタイプに相当する。

## 4.2 「ズキズキ(と)」の主体

次に「ズキズキ」の主体を表3に示す。肉体的刺激の場合、「頭」が21例(21.9%)と最も多く、次いで「こめかみ」が4例(4.2%)となっており、明示的に頭部や顔の各部位の痛みを表しているものが合わせて43例(47.8%)と多い。傷の痛みにもよく使われる。また、精神的刺激の場合は「胸」や「心」などが来ている。

**表3 「ズキズキ(と)」の主体 (出現数)**

精神的刺激(6)								
胸	2	ハート	2	心	1	苦悩	1	
肉体的刺激(90)								
頭	21	目の奥	1	腰	1	血	1	
こめかみ	4	鼻	1	尻	1	まめ	1	
唇	3	歯	1	子宮	1	腕の傷	1	
目	3	虫歯	1	髀	1	腹の傷	1	
腕	3	親知らず	1	卵巣	1	手術の終わった	1	
傷・傷口・傷跡	3	歯肉	1	奥の方	1	蹴られた箇所	1	
額の傷(跡)	2	肩	1	足と背中	1	胃～右脇腹にかけて	1	
耳	2	乳首	1	足首	1	胃からお腹にかけて	1	
手	2	腹	1	体	1	足の付け根と金玉	1	
体中	2	脇腹	1	全身	1	?	10	
膝	2	頭のでっぺんから足つまさき		1	お尻の穴とオマ○コのあたり			1
顔	1	足の付け根とあそこの先の方と尿道と金玉						1
合計(96)								

以下、BCCWJに出現した各用法の例を挙げておく。

- (1) (精神) ものすごく、不安で、胸がズキズキします。(Yahoo!ブログ)
- (2) (肉体) 腹の傷は心臓の鼓動にあわせてまだズキズキと鈍く痛んでいた。(村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』)

## 5. 「ズキン(と)」

### 5.1 「ズキン(と)」の被修飾語

まず、「ズキン」の被修飾語を表4に示す。これを見ると、「ズキン」は全25例のうち、精神

的刺激を表す場合が 11 例(44.0%)、肉体的刺激(痛み)を表す場合が 14 例(56.0%)となっている。また、「ズキン」は「ズキズキ」や「ズキンズキン」と違い、「ズキンズキン」とのように基本的に「と」を取る。

表4 「ズキン(と)」の被修飾語 (出現数)

精神的刺激(11)							
－する	2	疼く	1	疼くように痛む	1	(心臓を)打つ	1
痛む	3	突き抜ける	1	疼くような痛みが走る	1	(胸が)鳴る	1
肉体的刺激(14)							
－する	1	痛む	4	疼く	2	痛みが走る	1
－くる	1	(痛みが・痛さが) 突き抜ける	2	脈打つ	1	－という痛み	1
－なる	1						
合計(25)							

以上のように「ズキン」は「する」<sup>6</sup>や「痛む」などの述語を取り、瞬間的に一度脈打つような体の痛みを表す。それが精神的な心の痛みにも派生していると考えられる。脈打つような痛みという点では「ズキズキ」に似ているが、「ズキズキ」が連続的な刺激を表すのに対し、「ズキン」は瞬間的な刺激を表すという点で違いがある。

(3) 昨夜からずっと、頭が{ズキズキ/\*ズキン}と痛む。(連続的)<sup>7</sup>

(4) 腕を上げた瞬間、肩が{\*ズキズキ/ズキン}と痛んだ。(瞬間的)

## 5.2 「ズキン(と)」の主体

次に「ズキン」の主体を表5に示す。肉体的刺激の場合、主体には「足」や「頭」などが来ており、細かい顔の部位は来ていない。また、精神的刺激の場合は「胸」などが来ている。

<sup>6</sup> 「ズキン」は吉永(2016)のAタイプに相当する。

<sup>7</sup> 例(3)、例(4)はそれぞれ吉永(2016)の例(17)、例(20)を参考に作成したものである。

**表5 「ズキン(と)」の主体 (出現数)**

精神的刺激(11)							
胸	7	頭	1	ハート	1	?	1
心臓	1						
肉体的刺激(14)							
足	3	胸	1	股間	1	中指	1
頭	2	肺	1	子壺	1	?	1
肩	1	心臓	1	敏感な部分	1		
合計(25)							

以下、BCCWJ に出現した各用法の例を挙げておく。

(5) (精神) その千野恵の名を見た瞬間は、さすがに玲子の胸がずきんと痛んだ。(松尾未来(著)『ばね足男が夜来る』)

(6) (肉体) 足にべっとりと血が！ ずきん、と、いたさが体中をつきぬける。(岸川悦子『せんせい』)

## 6. 「ズキンズキン(と)」

### 6.1 「ズキンズキン(と)」の被修飾語

まず、「ズキンズキン」の被修飾語を表6に示す。これを見ると、「ズキンズキン」は全 15 例全てが肉体的刺激(痛み)を表している。

**表6 「ズキンズキン(と)」の被修飾語 (出現数)**

肉体的刺激(15)							
ーする	1	痛む	1	音を立てる	1	って感じ	1
響く	5	痛い	1	動悸を打つ	2	φ(動)	1
感じる	1	ぶり返す	1				
合計(15)							

以上のように「ズキンズキン」は「する」<sup>8</sup>や「響く」、「痛む」などの述語を取り、断続的で細切れに脈打つような体の痛みを表す。これも精神的な心の痛みに派生して使えると思われるが、BCCWJからは出現しなかった。脈打つような痛みという点では「ズキン」や「ズキズキ」

<sup>8</sup> 「ズキンズキン」は吉永(2016)のAタイプに相当する。

に似ているが、「ズキン」が一時的な刺激を表すのに対し、「ズキンズキン」は複数的な刺激を表すという違いがある。

(7) 腕を上げた瞬間、肩が{ズキン/\*ズキンズキン}と痛んだ。(一時的)

(8) 昨夜からずっと、頭が{\*ズキン/ズキンズキン}と痛む。(複数的)

また、「ズキズキ」が連続的で小刻みな刺激を表すのに対し、「ズキンズキン」は断続的で細かい刺激を表すという違いがある。

(9) 頭が{ズキズキ/\*ズキンズキン}と小走りに脈打つように響く。(複数的・連続的)

(10) 頭が{\*ズキズキ/ズキンズキン}とゆっくり脈打つように痛む。(複数的・断続的)

## 6.2 「ズキンズキン(と)」の主体

次に「ズキンズキン」の主体を表7に示す。「ズキンズキン」の場合、主体には「頭」や「足」などが来ており、顔の細かい部位は来ていない。また、BCCWJ からは精神的刺激の例は出現しなかった。

表7 「ズキンズキン(と)」の主体 (出現数)

肉体的刺激(15)							
脳天	3	頭	1	奥	1	親指	1
靴の踵から頭の頂辺へ	2	足首	1	骨身	1	?	5
合計(15)							

以下、BCCWJ に出現した各用法の例を挙げておく。

(2) (肉体) ご飯を食べて、噛むと 頭に響いて ズキンズキン… 痛い… (Yahoo!ブログ)

## 7. まとめ

最後に、今回の調査結果をもとに「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」の意味関係を図



8に示しておく。

**表8 「ズキズキ」、「ズキン」、「ズキンズキン」の特徴**

	タイプ	動作の回数	「ーと」	「ーする」 の可否	自他	用法	
						肉体	精神
ズキズキ	A	複数の・連続的 (小刻み)	任意	○	自	○	○
ズキン	A	一回的・瞬間的	必須	○	自	○	○
ズキンズキン	A	複数の・断続的 (細切れ)	任意	○	自	○	△

(注) ○は可または有、△は使えそうだが BCCWJ には出現しなかったものを表す。

付記: 本稿は 2019-2021 年度科学研究費基金(基盤研究(C))「心身のオノマトペの形態と意味の相関についてー医療福祉分野への貢献を目指してー」(研究代表者: 吉永尚、課題番号 19K00725)による研究成果の一部である。

#### [参考文献]

- 小野正弘(編)(2007)『擬音語・擬態語 4500 日本語オノマトペ辞典』小学館
- 杉村泰(2017)「日本語のオノマトペ「ヒリヒリ、ヒリッ、ヒリリ」、「ビリビリ、ビリッ、ビリリ」、「ピリピリ、ピリッ、ピリリ」の記述的研究」『ことばの科学』第 31 号, 名古屋大学言語文化研究会, 111-130
- 杉村泰(2018a)「日本語のオノマトペ「チクチク」、「チクッ」、「チクリ」、「チクリチクリ」の記述的研究」『ことばの科学』第 32 号, 名古屋大学言語文化研究会, 5-23
- 杉村泰(2018b)「日本語のオノマトペ「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」、「キュッ」、「キュッキュッ」の記述的研究」『ことばの科学』第 32 号, 名古屋大学言語文化研究会, 25-44
- 杉村泰(2019)「日本語のオノマトペ「ガンガン」、「キリキリ」、「シクシク」、「ジンジン」、「ジーン」の記述的研究」『ことばの科学』第 33 号, 名古屋大学言語文化研究会, 5-24
- 吉永 尚(2016)「心身の状況を表す擬態語動詞についての素性分析」『園田学園女子大学論文集』50, 21-28

